

議事要点

|         |  |
|---------|--|
| 会議名称    | 令和5年度 第3回立川市国民健康保険運営協議会  |
| 開催日時    | 令和5年10月18日（水） 午後1時30分～午後3時00分  |
| 開催場所    | 立川市役所第一議員会議室   |
| 次第      | 1 令和4年度特別会計国民健康保険事業決算等について<br>2 立川市国民健康保険第3期データヘルス計画について<br>3 その他  |
| 配布資料    | <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1 令和4年度立川市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算書</li> <li>資料2 立川市の国民健康保険 令和5年度版（令和4年度実績）</li> <li>立川市国民健康保険 第3期データヘルス計画案 概要版</li> <li>立川市国民健康保険保健事業実施計画（第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画）振り返り 再差替</li> </ul>   |
| 出席者     | <p>[委員]</p> <p>被保険者代表（5名）<br/>田尻 隆子 西村 徳雄 萩原 幸夫 宮本 直樹<br/>山田 廣幸</p> <p>保険医及び保険薬剤師代表（5名）<br/>五十嵐 弥生 多森 芳樹 平田 俊吉 森谷 健一<br/>石原 一生</p> <p>公益代表（5名）<br/>頭山 太郎 山本 みちよ 浅川 修一 黒川 重夫<br/>木村 辰幸</p> <p>被用者保険等保険者代表（2名）<br/>藤田 美奈子 大塚 智廣</p> <p>[事務局]</p> <p>副市長 田中 良明 保健医療担当部長 浅見 知明<br/>保険年金課長 横田 昌彦 健康づくり担当課長 佐藤 良博<br/>財政課長 佐藤 岳之 保険年金課業務係長 小安 裕史<br/>保険年金課医療給付係長 熊谷 由希雄<br/>保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 加藤 亜美</p> |
| 公開及び非公開 | 公開   |
| 傍聴者数    | 1人   |
| 会議結果    | <p>○事務局からの報告事項</p> <p>特定健診の受診勧奨事業として、9月の下旬に今年度特定健診の未受診者、約1万6,000人に1回目の受診勧奨通知を発送。</p> <p>市内の5つの病院に個別に訪問し、各病院で勤務するかかりつけ医の</p>  |

先生から、患者に健診を受診するよう声かけをしていただくよう協力の依頼を行ったと報告。

前回の運営協議会での質問に対して回答し、今後の保健事業に意見を活かしていくとした。

#### 1 令和4年度特別会計国民健康保険事業決算等について

資料1と資料2に基づき、令和4年度決算の概要について、令和3年度決算との比較を中心に説明。

収納率に関して、立川市と市町村で3%の乖離があるのは何か特徴的なことがあるのかとの質問に、東京都全体から見ると低くはなく、都心部の方が低いというのが全国的にもある傾向と回答。

#### 2 立川市国民健康保険第3期データヘルス計画について

当日配付資料のデータヘルス計画案概要版について説明。第3期データヘルス計画ではつなぎと予防ということをテーマとし、特定健診の受診率向上と高齢者への健康教育事業の2つの取組を実施することで、被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指していくとした。立川市の生活習慣病等に関する健康状況のデータ分析結果を説明。第3期データヘルス計画では、生活習慣病重症化予防の取組を一層進めるとともに、その他健康づくり、がん検診や歯科健診の受診勧奨、高齢福祉課などと連携したフレイル予防などの健康教育事業を実施し、国保被保険者を含む市民全体の健康意識の向上に努めたいとした。

病院への健診の勧奨について、治療中の患者に次回は検診をしましょうと先生から声かけしてもらってはどうかという意見があり、検討していきたいと回答。

データヘルス計画で、5年間の期間中に途中で75歳以上になってしまう方の扱いはどうなるのかという質問に対し、データヘルス計画に新しい項目として高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施という、国保の保健事業から後期高齢の保健事業へつなげる項目を設けて、途中で支援等が途切れないような形で進めていくと回答。糖尿病重症化予防の事業から始め、別の事業についても、次期データヘルス計画の中で実施を検討したいとした。

人工透析の新規患者数が毎年いることに関して、糖尿病から人工透析に移行する割合が高いため、糖尿病性腎症重症化予防事業を推進するべきという意見があった。早期発見のため慢性腎臓病重症化予防事業を始める予定にしていると事務局より説明。糖尿病の症状があれば医療機関を受診してくださいというPRも必要という意見があった。

高齢者を含む市民の通いの場へ医療専門職を派遣するという点について、市民の通いとはどういった所かという質問に、介護予防のための体操教室や、地域で開催されている茶話会、地域福祉アンテナショッ

|    |   |
|----|---|
|    | <p>プという常設の住民が集まる場所を想定していると回答。</p> <p>人工透析の新規患者数について、ずっと立川の国保に入っている人なのかという質問に対し、継続して国保かどうかというのは確認したいと回答。年度途中で社保から国保になって、人工透析になるケースもあり、いつから国保というのはなかなか難しいという意見があった。</p> <p>血糖値等が高いのに服薬なしの方がなぜ通院しないのか分析をしたほうがいいのではないかという意見に対し、要因について調べられるように取組を検討していきたいと回答。</p> <p>糖尿病について、微量アルブミン尿検査の導入も含め、どのようなスクリーニングを考えているかという質問に対し、微量アルブミンは初期費用がかなりかかることがあるのだが、それを含め、対象者の抽出については、今後も引き続き検討すると回答。立川市医師会の定例会の中でも、今後の特定健診の検査項目の見直しや、近隣の自治体との十分な議論の必要性の話をしており、継続的に検討していきたいとした。</p> <p>データヘルス計画について、健診の受診率向上に注力すべきとの意見があった。また、通いの場等で医療専門職の方が健康教育を実施することとフレイル予防の関連についての質問に対し、最近では身体が衰えている方は口の衛生状態が悪いということが分かり、国においても、口腔ケアの取組を進めるようにという方向性である。栄養の取り方と口腔衛生というのを一番課題として捉えて、それに関する医療専門職を派遣する計画であり、医療専門職は歯科衛生士と管理栄養士の2職種をセットで派遣したいと考えていると回答。</p> <p>歯がなくなると健康寿命が大変短くなるので、歯科健診の勧奨等をしていただきたいという意見に対し、近隣自治体に比べ、立川市の歯科健診の受診率がかなり低いという状況を課題と感じているので、今後の勧奨の在り方については、引き続き、歯科医師会とも議論を進めていきたいと思っていると回答。</p> <p>3 その他</p> <p>第4回の運営協議会の日程は、11月28日火曜日に、13時30分から市役所1階の101会議室で開催予定と事務局より連絡。</p> |
| 担当 | <p>福祉保健部保険年金課</p> <p>電話 042-528-4314</p>  |